

鳥獣被害防止のためバッファゾーン整備を行った事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：東広島市

取組のきっかけ・経緯

・シカ・イノシシによる農業被害を防止するため、鳥獣の隠れ場所をなくすための森林整備を実施した。

今後の展開

・単年度の市町事業による委託での整備量、効果は限界があるため、地域での自主的なバッファゾーン整備を推進するとともに、効果的な方法について検討する。

取組の内容

- ・事業主体：賀茂地方森林組合
（地域の要望を取りまとめて実施）
- ・実施場所：高屋町、福富町、豊栄町、河内町
- ・実施量：4.71ha
- ・事業金額：9,545千円
- ・実施期間：令和5年3月1日～3月24日

【整備前】



【整備後】



取組後の感想

【良かった点】

・事業実施地においてはバッファゾーン整備ができ、また、景観が向上した。

【悪かった点】

・林業事業体への委託のみでの事業実施では整備量・効果に限界がある。

【整備の様子】



自主的な森林管理の推進に加え、家族参加型のイベント等の開催により森林活動の関係人口を増やした事例

事業名：里山保全活用支援事業

市町名：東広島市

取組のきっかけ・経緯

・里山の模範的な景観を復活させ、地域社会に寄与することを目的として実施した。

今後の展開

次の活動を予定している。

- ①森林整備
- ②人財育成
- ③山林資源の創出と利活用
- ④森林、林業体験イベントの実施

取組の内容

- ・事業主体：もりびと
- ・実施場所：東広島市豊栄町吉原
- ・実施量：活動参加者78人
 - ①里山林の整備(除伐、雑草木の刈払)
 - ②環境調査や野鳥の観測
 - ③地域の子どもたちの薪割り体験
 - ④搬出した原木での椎茸の植菌体験
- ・事業金額：1,717千円
- ・実施期間：令和4年6月28日～令和5年3月19日

【整備前】



【整備後】



取組後の感想

【良かった点】

- ・森林機能及び地域環境の向上に寄与し、里山の保全活用につなげることができた。
- ・森林整備やイベント・ワークショップの開催を継続するとともに、人材育成や資源としての利活用を通じて市民参加型の森づくりを推進していきたい。

【活動の様子】

